

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○不妊治療の際に要した治療費及び交通費等を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	離島地域不妊治療支援事業費、不妊治療費支援事業		

施策の目的	町内に居住する特定不妊治療を受ける夫婦に対し、治療の際に要した治療費及び交通費等の一部を助成することにより、安心して子供を生み育てることのできる環境づくりを推進すると共に、不妊に悩む夫婦の精神的負担と経済的負担の軽減を図り、少子化対策に努めることを目的とする。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> 離島地域不妊治療支援事業費（交通費・宿泊費） 特定不妊治療に係る交通費の2/3を助成（1回の治療当たり9往復分を限度） " 宿泊費の2/3を助成（1回の治療当たり15泊を限度） 不妊治療費支援事業費 特定不妊治療に係る治療費のうち鹿児島県不妊治療治療費助成事業の助成金を控除した後の自己負担の1/2を助成（10万円を限度） 一般不妊治療に係る治療費の1/2を助成（5万円を限度）
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【経費内訳】																	
款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位：千円)	款	15	項	2	目	3	節	1	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	節	細節	費目名				金額				
18	2	92 離島地域不妊治療支援事業費				862	9	離島地域不妊治療支援事業費補助金				303					
18	2	138 不妊治療費支援事業				737		(一般税源)				1,296					
計						1,599	計						1,599				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
助成事業利用延べ回数	目標	5	13	/	/	/	A
	実績	5	13	/	/	/	

【評価】
●本事業の実施により、町内に居住している夫婦の不妊治療が促進されると共に、精神的負担と経済的負担の軽減が図られた。
【実人数 (13名) 延べ人数 (28名)】
・離島地域不妊治療支援事業費（交通費・宿泊費） 助成額：862,006円
・不妊治療費支援事業費 助成額：737,005円

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○安心した出産と乳幼児健康のため妊婦・乳幼児の健康を診査		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	妊婦・乳幼児健康診査		
施策の目的	町内に居住する妊婦の安心安全な出産のため、また乳幼児の健康保持、増進のため健康診査を実施する。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦一般健康診査 ・乳幼児一般健康診査 ・乳幼児むし歯予防処置(2歳6ヶ月) 		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)	
歳出内訳									歳入内訳					
節	細節	費目名			金額				細節	費目名			金額	
12	1	043 妊婦乳幼児健康診査委託料			5,127				(一般財源)				5,127	
計				5,127					計				5,127	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
助成事業利用延べ人数	目標	720	720	720	720	720	B
	実績	706	489				

【評価】

●本事業の実施により、町内に居住している妊婦及び乳幼児の健康管理が図られた。

- ・妊婦一般健康診査：受診実人員(99名) 受診延べ人員(489名)
- ・乳幼児一般健康診査：受診実人員(246人名) 受診延べ人員(305名)
- ・乳幼児むし歯予防処置(2歳6ヶ月)：受診実人員(47名)

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○加計呂麻島・与路島・請島に居住する妊婦の健康診査を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	離島地域出産支援事業		
施策の目的	町内加計呂麻島・与路島・請島に居住する妊婦に対し、健康診査を受けるため各離島から奄美大島本島までの一部を助成することにより、赤ちゃんとお母さんの健康と健やかな成長を願い次世代の育成支援を目的とする。		
具体的な施策内容	加計呂麻島・与路島・請島から古仁屋港までの船代及び宿泊費を助成		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	71 離島地域出産支援補助金				291			3	離島地域出産支援事業費補助金				61			
										(一般財源)				230			
計						291			計						291		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
助成事業利用実人数	目標	10	10	10	10	10	B
	実績	7	6				

【評価】

本事業の実施により、町内の離島（加計呂麻島・請島・与路島）に居住している経済的負担の軽減により、少子化対策が図られた。

(交通費) ▶実人員：6名 ▶助成額：81,300円

(宿泊費) ▶実人員：2名 ▶助成額：210,000円

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○妊婦が健康診査を受けるため必要な交通費等を支援		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	妊婦健康診査交通費等支援事業																
施策の目的	町内に居住する妊婦に対し、健康診査を受けるため必要な交通費等の一部を助成することにより、赤ちゃんとお母さんの健康と健やかな成長を願い次世代の育成支援を目的とする。																
具体的な施策内容	妊婦健診を受診する際の交通費及び宿泊費を助成																
【経費内訳】																	
款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18	2	113 妊婦健診受診交通費等支援事業助成金			904			(一般財源)			904						
計				904		計				904							

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
助成事業利用実人数	目標	80	80	80	80	80	B
	実績	74	48				
【評価】							
妊婦世帯の経済的負担の軽減を図ることで、子育て環境の満足度向上に資する施策として実施した。今後も、少子化対策への切れ目のない支援の一つとして取り組んでいく							
(交通費) ▶実人員: 48名 ▶助成額: 874,000円							
(宿泊費) ▶実人員: 2名 ▶助成額: 30,000円							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○妊産婦の孤立感を解消するため産前・産後をサポート		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	相談支援（ママのほっとサロン）		
施策の目的	身近に相談できるものがないなど、支援を受けることが適当と判断される妊産婦及び家族に対し相談支援・情報提供・助言その他の支援を行う。		
具体的な施策内容	町内在住の妊婦さんと先輩ママ（およそ生後6ヶ月までのお子さんのある方）との交流会を実施し、妊娠・子育てへの不安を解消する。 毎月第4水曜日9：00～11：30		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	6	事業	2	(単位：千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名		金額						
7	1	報償費				85		11	妊娠・出産包括支援事業費補助金		58						
13	1	車両船舶借上料				32			(一般財源)		59						
計						117		計						117			

重要業績評価指標（KPI） R2～R6

KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
参加延べ人数	目標	70	70	70	70	70	B
	実績	55	42				

【評価】

●この事業を行うことで、先輩ママとの情報交換により、初めての妊娠、初めての子育てにおける不安の解消に努めることができた。

実施回数：7回

延べ人数：42人

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○母子の居宅を訪問し、母体・乳児のケアを実施（産後ケア）		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	産後ケア事業		
施策の目的	退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を目的とする。		
具体的な施策内容	母子の居宅を訪問し、母体の心身ケア、乳児ケアを実施するとともに育児指導を行う。		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	6	事業	2	(単位：千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
12	1	産後ケア業務委託料				330		11	妊娠・出産包括支援事業費補助金				165				
									(一般財源)				165				
計						330		計						330			

重要業績評価指標（KPI） R2～R6

KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
延べ人数	目標	60	60	60	60	60	A
	実績	49	55				

【評価】

本事業の実施により、母体の心身ケア、乳児ケアを行い、安心して子育てを行う環境づくりができました。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○子どもの疾病の早期発見・治療を支援(子ども医療助成)		

会計区分	一般会計	会計名																
事業名	子ども医療費助成事業																	
施策の目的	窓口での個人負担分を助成することにより子育て世帯の負担軽減を図り、健康の保持推進を図る。子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、子どもの健康の保持増進を図るため、子どもの保健診療に係る医療費の一部を助成する。																	
具体的な施策内容	乳幼児医療費助成金 10,495,245円 児童・生徒医療費助成金 7,773,366円 子ども医療給付事業助成 2,553,263円 【登録者】乳幼児医療費助成 340人 児童・生徒医療費助成528人 子ども医療給付事業助成172人 合計1,040人 【延べ件数】乳幼児医療費助成 3,569件 児童・生徒医療費助成2,744件 乳幼児医療給付事業助成 1,150件 合計 7,463件																	
【経費内訳】																		
款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	2	節	3	2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額									
19	1	扶助費		20,821		-	県支出金		3,870									
						-	地方債		11,300									
							(一般財源)		5,651									
計				20,821		計				20,821								

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標	-	-	-	-	80%	
	実績	-	-	-	-	未定	
【評価】							
●乳幼児の医療費無料化の継続や子育て世代包括支援センターとの連携で切れ目ない支援につなげ、満足度向上を目指す。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○養育支援が特に必要な家庭に訪問し養育指導助言を実施		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	養育支援訪問事業																
施策の目的	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保することを目的とする。																
具体的な施策内容	乳幼児全戸訪問事業等により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童若しくは保護者または妊婦に対し、居宅にて養育に関する相談・指導・助言その他必要な支援を行う。																
【経費内訳】																	
款	4	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
12		母子保健指導委託料				6	6	子ども・子育て支援交付金(県費含む)				4					
								(一般財源)				2					
計						6	計						6				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
年間延べ人数	目標	-	37	37	37	37	A
	実績	-	40	/	/	/	
年間実人数	目標	37	-	-	-	-	A
	実績	8	-	-	-	-	
【評価】							
この事業を実施することで、居宅にて養育に関する相談・指導・助言その他必要な支援を行うことができた。							
※KPI指標を、R3より延べ人数に変更する(R2は実績を実人数で算出していた。目標は延べ人数であった。)							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	〇かごしま子育て支援パスポートで子育て家庭を応援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	かごしま子育て支援パスポート事業		
施策の目的	事業に協賛する企業や店舗の御好意により、パスポートを提示されたご家族に、割引や独自の優待サービスなどを提供していただくことで、子育て家庭を地域全体で応援する仕組み。		
具体的な施策内容	瀬戸内町内の協賛店登録数 9店舗		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額	
		R 3 は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
参加店舗数	目標	20	12	15	17	20	C
	実績	10	9				

【評価】

●商工会と協力連携を図るとともに、様々な情報ツールを利用し、周知を図ることで協賛店舗数を増やしていく。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○上記、取組に対応するため「子育て世代包括支援センター」を開設		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	子育て支援包括支援センター設置																
施策の目的	子どもを安心して出産し、また、生まれた子どもが健やかに成長していけるよう、出産前から出産後、乳幼児期、さらにその先へと、切れ目のない支援を行うことを目的とする。																
具体的な施策内容	保健師等の専門職が、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する妊産婦等からの様々な相談に応じ、その状況を継続的に把握し、支援を必要とする者が利用できる母子帆保健サービス等の情報提供を行うとともに、関係機関と協力して支援プランの策定などを行う。																
【経費内訳】																	
款	4	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
1~3	1	報酬・給料・手当				5,233	11	子ども・子育て支援交付金(県費含む)				5,997					
4	1	共済費				1,894		(一般財源)				1,201					
10	2	消耗品				71											
計						7,198	計						7,198				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
設置箇所数	目標	1	1	1	1	1	A
	実績	1	1				
【評価】							
「子育て世代包括支援センター」を設置することで、出産前から出産後、乳幼児期、さらにその先へと、切れ目のない支援を行うことができ、不安や心配事の解消に努めることができた。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	森 智子
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○就学前の子どもをもつ保護者に子育て学習講座を実施		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	就学时子育て学習講座																
施策の目的	小学校入学前の子どもを持つ全ての親が参加する就学时健康診断の機会を利用して、子供たちに「生きる力」の基礎的な資質や能力(あいさつ等の基本的な生活習慣・生活能力。豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断、社会的マナー、自制心や自立心など)を育むための家庭教育の在り方について考える機会を提供することにより、家庭の教育力再生を図る。																
具体的な施策内容	(対象) 令和4年度小学校に入学される児童の保護者 (日程) 令和3年10月27日(水) 古仁屋小学校北校舎1Fオープンスペース (講師) 瀬戸内町教育委員会 指導主事 川原園 達司先生 (演題) 「今, 学校は, これから子どもたちは」 (内容) どんな学習をしているのか, 保護者としての心構え, 人権教育の問題等について (参加者) 就学时健康診断77名の保護者のうち72名																
【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位: 千円)	款		項		目		節		(単位: 千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
7	82	各種講座託児謝金			24			(一般財源)			24						
計				24		計				24							

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6								
KPI (指標名)			R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
研修会の受講者数 (人)			目標	40	40	40	40	A
			実績	54	72			
【評価】								
●保護者が、講演を通して、入学前に学校の様子やコロナ禍での基本的な考え方などを図る良い機会となった。								

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	清水 健太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	〇未就学児の運動能力を向上（プレゴールデンエイジ事業）		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	プレゴールデンエイジ事業																
施策の目的	プレ・ゴールデンエイジとは脳や神経系が最も発達しやすい4歳～8歳頃の年代を指し、運動能力を身に付けるのに最適といわれるゴールデンエイジ（9歳～12歳頃）の前段階である。プレ・ゴールデンエイジの時期に多種多様な動きを体験し、楽しみながら身体を動かすことが、その後の運動能力の向上に大きく影響を与えると言われているため、本事業は、4歳～6歳（未就学児）の子ども達に注目し楽しく安全に遊びながら、運動能力の発達を後押しすることを目的としている。																
具体的な施策内容	<p>【事業の内容】</p> <p>令和3年度 5月～3月 年10回（内3回 新型コロナウイルスの影響で中止）</p> <p>5/25 開講式・基本動作・トランポリン 清水体育館 11名</p> <p>6/17 ボール遊び 清水体育館 31名</p> <p>8/3・8/4 親子で水遊び(プール) 古仁屋中学校プール 7名・11名</p> <p>9/24 基本動作・マット運動等 清水体育館 29名</p> <p>10/21 かけっこ遊び 清水体育館 22名</p> <p>11/25 相撲遊び 清水体育館 25名</p> <p>計 7回 実施/136人参加</p>																
【経費内訳】																	
款	10	項	6	目	1	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
7	79	外部講師謝金		50			(一般財源)		61								
7	98	報償費		11													
計				61		計				61							

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
年間登録幼児数（人）	目標	40	40	40	40	40	A
	実績	52	41				
【評価】							
<p>●令和3年度は、年10回の開催計画の中で、新型コロナウイルスの影響で3回が中止となった。開催した7回の延べ人数は136人で、活動時は子どもたちも楽しみながら挑戦する姿がみられた。今後も、子ども達が安全に楽しく活動しながら、運動能力を後押しできるよう、内容等を工夫しながら継続していきたい事業である。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	島田 伸作
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○基本的な生活習慣リズムを定着（ラジオ体操せとうち選手権）		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	ラジオ体操せとうち選手権																
施策の目的	子ども達が健やかに成長していくためには、適切な運動とバランスのとれた食事、十分な睡眠が大切とされています。 本町では、必要不可欠な基本的習慣と生活リズムの向上を目的に、ラジオ体操選手権を開催し、早寝・早起き・ラジオ体操・朝ごはんの定着を目指します。																
具体的な施策内容	参加率80%から90%に達する児童・生徒を表彰する。																
【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
7	88	報償費			200			(一般財源)			200						
計					200		計					200					

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
ラジオ体操参加率（%）	目標	70	70	70	70	70	C
	実績	52	42				
【評価】							
<ul style="list-style-type: none"> ●表彰対象者の基準が地域ごとで違うので統一できないか検討する。 回収期限を厳守し、結果報告を迅速に行う。 参加率の増加については、学校関係者との連携により施策の目的等を今一度、周知する。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○「新・放課後子ども総合プラン」により安全で安心な居場所を提供		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	放課後児童健全育成事業		
施策の目的	昼間保護者のいない家庭の小学校に就学している児童を対象に、授業の終了後に学校の空教室を利用して適切な遊び及び生活の場を与えることにより、児童の健全な育成を図る。		
具体的な施策内容	(古仁屋児童クラブ) 開所時間 平日 13:00～19:00 長期休暇 08:00～19:00 年間開所日数 293日 児童数 42人		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	14 15	項	2 2	目	2 2	節	3 3	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
18	2	補助金				6,038		3	国庫支出金				2,012				
								7	県支出金				2,012				
									(一般財源)				2,014				
計						6,038		計						6,038			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6								
KPI (指標名)			R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標		-	-	-	-	70%	
	実績		-	-	-	-	未定	
【評価】								
●国に準じた補助金交付により、社会資源を確保し、子育て支援に努め、さらに満足度向上を目指す。								

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	岩永 由希子
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○「新・放課後子ども総合プラン」により安全で安心な居場所を提供		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	瀬戸内町放課後子ども教室																
施策の目的	安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て子ども達と共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを推進する。																
具体的な施策内容	古仁屋小学校区・阿木名小学校区・嘉鉄小学校区の全児童生徒（各校区） 令和3年度登録児童数・古仁屋教室41人・阿木名教室10人・嘉鉄教室10人 令和3年度参加述べ人数及び開校日数 ・古仁屋教室（1952人/195日）・阿木名教室（521人/162日）・嘉鉄教室（603人/79日）																
【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位：千円)	款	15	項	2	目	7	節	2	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
18	107	放課後子ども教室補助金				2,203		2	かごしま地域塾推進事業補助金				573				
									(一般財源)				1,630				
計						2,203		計						2,203			

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
(古仁屋教室)登録者数（人）	目標	50	50	50	50	50	B
	実績	40	41				
(阿木名教室)登録者数（人）	目標	15	15	15	15	15	B
	実績	10	10				
(嘉鉄教室)登録者数（人）	目標	6	10	10	10	10	A
	実績	7	10				
【評価】							
●地域の協力してくださる推進員やサポーターの方々のおかげで、子どもたちの取り組める内容も広がり活性化しているが、さらに協力者の増員が必要である。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	清水 健太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	〇スポーツをとおして健康な体と心を養う(スポーツ少年団)		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	瀬戸内町スポーツ少年団連絡協議会																
施策の目的	スポーツ少年団の指導者及び母集団が「スポーツ少年団の理念」を理解したうえでスポーツ少年団を運営し、子どもたちの健全育成に資することを目的とする。																
具体的な施策内容	大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会へ参加 体力テストを実施																
【経費内訳】																	
款	10	項	6	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額			細節	費目名			金額					
18	2	スポーツ少年団連絡協議会育成補助金			1,032				(一般財源)			1,032					
計				1,032				計				1,032					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
スポーツ少年団地域行事へのボランティア参加人数	目標	70	70	70	70	70	A
	実績	50	230				
大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会参加人数	目標	70	70	70	70	70	A
	実績	0	83				
【評価】							
●各種大会や行事等への参加をとおしてスポーツの楽しみや喜びを知り、協調性等を養うことができた。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	森 智子
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○学校教育やしつけに関わる講和・人権教育(家庭教育研修)		

会計区分	一般会計		会計名						
事業名	家庭教育研修会								
施策の目的	家庭教育・しつけにかかわる講話や人権教育に対する知識と理解を深めることで、家庭における教育機会の充実を図る。								
具体的な施策内容	(日程等) 令和3年6月6日(日) オンライン開催 瀬戸内町きゅら島交流館 (参加数) 計58人 午前・午後の2講座(コロナ感染対策の為、定員40人ずつで募集) (内容) かごしま県民大学中央センターによる「生涯学習県民大学講座」を活用 ・講座Ⅰ 子どもはのびのびと育てよう～アドラーに学ぶ～ ・講座Ⅱ 「子どもの「こころ」と「からだ」のサインからコロナ禍におけるストレス対処法～」								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額	
		R3は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6								
KPI(指標名)			R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
講習会参加者数(人)			目標	60	60	60	60	B
			実績	0	58			
【評価】								
<p>●かごしま県民大学中央センターの「生涯学習県民大学講座」を活用する事により、講師等経費は無し。</p> <p>コロナ禍での、子ども達との関わり方など、家庭教育やしつけ・人権問題について知識を深める良い機会となった。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止の観点により、急遽オンライン開催とし、出席者も制限するなど、安心して参加できる環境を整えて開催できた。</p>								

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健福祉係	担当者名	積 裕
----	-------	----	-------	------	-----

基本目標	3	項目	3-1-3
事業概要	〇島外での治療を必要とする障害児に療育旅費を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	心身障害児療育旅費扶助		
施策の目的	島外での治療を必要とする障害児と介護者に対して、鹿児島までの旅費の援助を行う。		
具体的な施策内容	対象児童は18才未満とし、船運賃に関しては1/2・航空運賃に関しては1/4を支給し、一人当たり5回までとする。		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	4	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
19	31	心身障害児療育旅費扶助				26				一般財源				26			
計									計								
26									26								

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
申請者数	目標	5	5	5	5	5	A
	実績	10	6				

【評価】

1組の障害児と保護者、延3回、6人分旅費の援助ができ障害児を持つ家族の負担軽減を図る事が出来た。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-3
事業概要	〇ひとり親家庭が安心して子育てを行うことができるよう支援		

会計区分	一般会計	会計名																
事業名	ひとり親家庭医療費助成事業																	
施策の目的	母子父子家庭等の方々の生活の安定と健康の保持を図るために、医療費の自己負担分を助成する制度。対象者としてはひとり親家庭の父または母及び児童、父母のない児童。																	
具体的な施策内容	ひとり親家庭医療費助成金 4,578,964円 【登録者】 母子・母 105人 母子・児童 162人 父子 父14人 父子・児童 24人 父母のいない児童 3人 合計308人 【延べ件数】 母子・母 682件 母子・児童 531件 父子 父92件 父子・児童 53件 父母のいない児童 4件 合計1,362件																	
【経費内訳】																		
款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	2	節	3	2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳										
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額						
19	1	扶助費				4,578	1	県補助金				2,289						
							5	地方債				1,000						
								(一般財源)				1,289						
計						4,578	計						4,578					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標	-	-	-	-	70%	
	実績	-	-	-	-	未定	
【評価】							
● 0歳～18歳までのひとり親養育者への医療支援の継続や子育て世代包括支援センターとも連携することで、切れ目ない支援を実現し、満足度向上を目指す。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教委総務課	係名	総務係	担当者名	満尾 英明
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-3
事業概要	○特別支援学級に就学する児童生徒の就学費用に係る支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	特別支援教育就学奨励費補助事業		
施策の目的	学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童若しくは生徒の保護者又は特別支援学級に就学する児童若しくは生徒の保護者に対する経済的負担の軽減。		
具体的な施策内容	特別支援学級に在籍する児童生徒の給食費・学用品費等の一部扶助(要保護世帯以外)		

【経費内訳】

款	10	項	2	目	2	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	1	2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額						
19	1	特別支援教育就学奨励扶助(小)				600	3	要保護児童援助費補助金				85						
19	1	特別支援教育就学奨励扶助(中)				192	3	要保護生徒援助費補助金				38						
								(一般財源)				669						
計						792	計						792					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て支援の充実度	目標	/	100	100	100	100	A
	実績	/	100	/	/	/	
【評価】							
<p>障害のある児童生徒が学ぶ際に、保護者が負担する教育関係経費については、家庭の経済状況等に応じ国及び自治体は補助しなければならない制度となっている。</p> <p>今後も継続して取り組んでいく。</p> <p>※KPIは活用率。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課・保健福祉課・教育委員会	係名	児童母子係・保健予防係・教委総務係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------------------	----	-------------------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-3
事業概要	○各関係機関と連携し児童虐待問題に迅速に対応		

会計区分	一般会計	会計名							
事業名	児童虐待問題対策事業								
施策の目的	子どもや家庭をめぐる問題は複雑・多様化しており問題が深刻化する前の早期発見、早期対応、子どもや家庭に対する細かな支援が重要となります。そのためにはそれぞれの分野の機関と連携を図り、各機関とネットワークを構築して、その活用を図ることが必要である。								
具体的な施策内容	それぞれの機関の制度や機能を相互に理解し「虐待かどうかわからないが、気にかかる子どもがいる。」というレベルの相談や情報共有が行われるよう、日頃から関係づくりをしておく。								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳				歳入内訳					
節	細節	費目名	金額	細節	費目名	金額			
		R 3は、経費なし。							
計			0	計			0		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度 (基準値H27→27.9%) ※アンケートはR5年度終了時に実施予定	目標	-	-	-	45.0	45.0	D
	実績	-	-	-	-	-	
【評価】							
●要保護児童対策地域協議会等を通じて、関係機関と連携をとりながら各個別のケースに対応する。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-4	※事業No.85と同(再掲)
事業概要	○定住促進と切れ目ない子育て支援 (出産祝金・入学祝金「小学校・古仁屋高校」)			

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	地域活性化定住促進事業(出産・入学祝金支給事業)																
施策の目的	<p>【出産祝金】 本町に住所を有し居住している者の出産に対してこれを祝福し、出生児の健やかな成長に寄与するため、瀬戸内町出産祝金を支給する。町の将来の活力を支えていく子どもの出生を奨励することを目的とする。</p> <p>【入学祝金】 小学校及び高校に入学された児童・生徒を養育している方に祝金を支給することにより、次代を担う児童・生徒の健全育成を目的とする。</p>																
具体的な施策内容	<p>【出産祝金】 50,000円×45名=2,250,000円</p> <p>【入学祝金】 小学校入学 50,000円×61人=3,050,000円 高校入学 50,000円×23人=1,150,000円 小計 4,200,000円</p> <p>●合計6,450,000 ※地方債は過疎ソフト債</p>																
【経費内訳】																	
款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		節	細節	費目名		金額							
19	1	扶助費		6,450		4		地方債		6,000							
								(一般財源)		450							
計				6,450		計				6,450							

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標					80%	
	実績					未定	
【評価】							
●切れ目ない支援と定住促進、地域活性化にもつなげ、満足度向上を目指す。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教委総務課	係名	総務係	担当者名	満尾 英明
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○児童生徒の疾病の早期発見・治療を支援(児童生徒医療費助成)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	要保護・準要保護児童生徒医療費扶助		
施策の目的	要保護・準要保護児童生徒の医療費補助(学校保健法に定められたものに限る)		
具体的な施策内容	上記に該当する者に対して医療費の一部を援助。		

【経費内訳】

款	10	項	2 3	目	2 2	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	1 2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
19	1	要保護児童医療費(小)				171		3	要保護児童生徒費補助金(小)				48				
19	1	要保護児童医療費(中)				38		3	要保護児童生徒費補助金(中)				12				
19	1	準要保護児童医療費(小)				150			(一般財源)				343				
19	1	準要保護児童医療費(中)				44											
計						403		計						403			

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
要保護児童生徒の保護者に対する経済的負担の軽減	目標	/	100	100	100	100	A
	実績	/	100	/	/	/	

【評価】

今後も、法令に基づき、義務教育の円滑な実施に取り組んでいく。
※前年度からKPI指標を変更しております。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教委総務課	係名	総務係	担当者名	満尾 英明
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○児童生徒に対する就学支援・通学支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	児童生徒遠距離通学費 準要保護児童生徒扶助費		
施策の目的	<p>○児童生徒遠距離通学費について 本町における遠距離通学児童・生徒に対して通学費を支給することにより、義務教育の円滑な推進と、本町の小中学校存続対策を図ることを目的とする。</p> <p>○準要保護児童生徒扶助費について 経済的に困窮している家庭に対して、学用品や給食費などの一部補助をすることで、児童生徒が充実した学校生活を送ることを目的とする。</p>		
具体的な施策内容	<p>○児童生徒遠距離通学費について 瀬戸内町立小学校及び中学校の通学区域に関する規則第2条に定める児童生徒のうち、最も経済的な通常の経路及び方法により通学している者で、片道の通学距離は児童は4*以上、生徒は6*以上である者が対象で、援助額は準要保護の児童・生徒及び閉校区域に住所のある者は全額、その他の者は1/2を援助。</p> <p>○準要保護児童生徒扶助費について 準要保護に認定された世帯に対し、給食費・学用品費等について国の基準単価に基づき補助する。</p>		

【経費内訳】

款	10	項	1~3	目	2	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	児童生徒遠距離通学費				1,438		(一般財源)				10,674					
19	1	準要保護児童扶助				4,644											
19	1	準要保護生徒扶助				4,592											
計						10,674	計						10,674				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て支援の充実度	目標		100	100	100	100	A
	実績		100				
【評価】							
○児童生徒遠距離通学費について 保護者の負担軽減、学校の存続対策につながっているため今後も継続していく。							
○準要保護児童生徒扶助費について 学校教育法第19条の規定に基づき、今後も継続しておこなうべきものである。 ※KPIは活用率。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教委総務課	係名	総務係	担当者名	満尾 英明
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○児童生徒に対しての各種助成（検定試験・留学旅行等）		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	各種検定試験等受験助成		
施策の目的	生徒が各種検定試験等を受験するにあたり、その費用の一部を助成し、保護者の経済的負担を図る。また、学校が推奨する検定試験を受験することで、生徒の学力向上を図る。		
具体的な施策内容	学校長が推奨する各種検定に係る検定料の2分の1を助成。 (漢字検定45名 ・ 英語検定47名)		

【経費内訳】

款	10	項	3	目	2	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	補助金				132				(一般財源)				132			
計						132			計						132		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て支援の充実度	目標	/	100	100	100	100	A
	実績	/	100	/	/	/	
【評価】							
各種検定試験を通して、生徒の学力向上と、より多くの生徒が検定資格取得を前提として取り組ませ、合格率アップや意欲向上に繋がっている。							
※KPIは活用率。							

(令和 3 年度分) 第 2 期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	危機管理係	担当者名	長
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○子どもの交通事故防止を図るため交通安全教室の実施		

会計区分			会計名						
事業名	子どもの交通安全教育								
施策の目的	子どもに対する交通安全教育は、日常生活における交通安全に必要な事柄など、特に自転車等で安全に道路を通行するために必要な知識を身につけ、交通マナーを守り他人にも思いやりを持って交通安全に配慮できることを目的とする。								
具体的な施策内容	交通安全運動期間における各種行事などを通じて、交通安全に対する意識の向上に努めた。								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		R 3 は、経費なし。							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R 2 ~ R 6							
KPI (指標名)		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	自己評価
子育て環境の満足度 ※ H 3 0 基準値 27.9%	目標	30	35	40	45	47	B
	実績	-	-	-	-	-	
【評価】							
○今後も関係機関と連携を図りながら、子どもの交通安全対策については、ソフト・ハードの両面から積極的に取り組んでいきたい。 ※満足度調査については、総合戦略改正時に合わせ実施します。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	危機管理係	担当者名	長
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○児童生徒の通学路等、交通安全対策のため防護柵を設置		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	交通安全施設工事																
施策の目的	通学路や生活道路が集中している区域に対して交通事故防止対策を講じる。																
具体的な施策内容	劣化した河川沿いの転落防止柵の整備及び道路区画線工を施工し、通学路等の交通安全対策を講じた。 ・転落防止柵施工（宮前地区） L = 42m ・道路区画線工（船津・大湊地区）																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	10	事業	2	(単位：千円)	款	2	項	1	目	10	節	14	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
14	1	001 交通安全防護柵		1,470		1	交通安全対策特別交付金		861								
							一般財源		609								
計				1,470		計				1,470							

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度 ※H30 基準値27.9%	目標	30	35	40	45	47	B
	実績	-	-	-	-	-	
【評価】							
○本事業により、生活道路・通学路の安全が確保された。今後も、事業を継続し交通安全対策に努める。 ※満足度調査については、総合戦略改正時に実施します。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	牧統 俊和
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	〇夜間の防犯対策と青少年の健全育成（防犯灯設置事業）		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	瀬戸内町青少年健全育成推進会議																
施策の目的	推進会議は、各種機関団体が協力連携して町民の総意を結集し、行政に呼応し、あるいは行政に働きかけを行い、町民総ぐるみの運動を展開し、町民一体となって次代を担う青少年の健全育成を図る。																
具体的な施策内容	推進会議は専門部会として、家庭教育部会、育成部会、社会環境部会を置き、さらには実践活動を推進する町内7地区（古仁屋・西方・山郷・鎮西・実久・請島・与路）の地区推進会議を置き青少年活動を行っている。																
【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7	71	専門部会活動謝金				15		(一般財源)				128					
7	72	地区会長活動謝金				35											
8	1	旅費				3											
10	5	印刷製本費				75											
計						128	計						128				

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
各専門部会活動（%）	目標	100	100	100	100	100	C
	実績	50	50	/	/	/	
地区推進会議の活動（%）	目標	100	100	100	100	100	C
	実績	40	40	/	/	/	
【評価】							
<p>社会環境部会では、スマートフォンの取扱いの注意を促すチラシの作成、家庭教育部会では、水難事故防止・遊泳禁止区域のチラシを作成し、全児童生徒へ配布し注意喚起を促した。育成部会では、「伝統文化・芸能の保存と継承に関する」標語を募集し、532作品の応募があった。6部門を設け優秀作品を「教育・文化宣言の町」の看板へ掲載し、伝統文化・芸能の保存と継承の気運の醸成を図ることができた。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	危機管理係	担当者名	長
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○夜間の防犯対策と青少年の健全育成（防犯灯設置事業）		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	防犯灯設置補助事業																
施策の目的	夜間における犯罪の未然防止と青少年の健全育成等のため、各地区へ防犯灯設置費の一部を補助する。																
具体的な施策内容	町内21地区に対し、LED防犯灯設置に係る費用の一部を助成した。 (21地区 補助額1,309,000円)																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	11	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18	2	防犯灯設置事業			1,309			一般財源			1,309						
計					1,309		計					1,309					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6									
KPI (指標名)			R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
子育て環境の満足度 ※H30 基準値27.9%			目標	30	35	40	45	47	B
			実績	-	-	-	-	-	
【評価】									
○本事業により、各地区の犯罪等の未然防止が図られ、住民の安全安心に繋がった。今後も、安全安心の町づくりのため本事業を推進していく。 ※満足度調査は、総合戦略改正時に実施します。									

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	静島
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○結婚新生活支援により新婚世帯の経済的負担を軽減		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	結婚新生活支援事業																
施策の目的	婚姻に伴う新生活を経済的に支援し、若い世代の結婚の希望をかなえ地域における少子化対策の強化に資することを目的とする。																
具体的な施策内容	交付1件当たり、30万円を上限に支援。うち1/2(上限)程度が国庫補助。交付条件は、夫婦ともに39歳以下で、世帯合計所得400万円未満。など。事業内容を町の広報紙、町ホームページ・SNSを活用し、周知を行う。																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	17	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18	2	128_結婚新生活支援			600		7	国補助金			300						
								(一般財源)			300						
計					600		計					600					

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度 ※アンケートはR5年度終了時に実施予定	目標	30	35	40	45	47	D
	実績	-	-	-	-	-	
出生数 ※R6の75人/年に向けて段階的に設定	目標	70	71	72	73	75	C
	実績	73	45	/	/	/	
合計特殊出生率 ※R6の2.20に向けて段階的に設定 ※奄美大島人口ビジョンを参考	目標	2.04	2.09	2.14	2.17	2.2	C
	実績	2.2	1.47	/	/	/	
【評価】							
<p>●当事業は、令和3年度において、国交付基準の緩和に準じる形で支援実施し、交付件数も2件となり、平成29年からの交付延べ件数は6件となっている。</p> <p>当事業は、「事業内容についての周知の徹底」が重要となるため、全ての交付対象婚姻世帯へ情報提供できるよう、戸籍住民係と連携を図り、遺漏のないよう取り組んでいる。</p> <p>今後も、住民の方への情報発信については、庁内関係窓口連携して、取り組んでいく。</p> <p>※KPI減少については、保健予防係調べ。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	静島
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○結婚新生活支援により新婚世帯の経済的負担を軽減		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	結婚祝い食事券給付事業																
施策の目的	結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」のために実施する事業のうち、結婚に対する支援として、瀬戸内町において新規に婚姻した世帯を対象とし、婚姻に伴う新生活を経済的に支援する。																
具体的な施策内容	本町に住所を有し、婚姻届けを提出された方（ご夫婦）に対し、町内飲食店（利用可能店舗）でのみ利用できる、『結婚祝い食事券』を給付する。給付する食事券は、1枚1,000円を20枚（2万円分）とする。 ※有効期間は給付から半年。 また、町内飲食店でのみ使用できる食事券を給付することによって、コロナ禍で苦しむ事業所への支援とする。																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	17	事業	1	(単位：千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額			細節	費目名			金額					
7	1	1_結婚祝い食事券			195				新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			195					
計					195			計					195				

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度 ※アンケートはR5年度終了時に実施予	目標	30	35	40	45	47	D
	実績	-	-	-	-	-	
出生数 ※R6の75人/年に向けて段階的に設定	目標	70	71	72	73	75	C
	実績	73	45				
合計特殊出生率 ※R6の2.20に向けて段階的に設定 ※奄美大島人口ビジョンを参考	目標	2.04	2.09	2.14	2.17	2.2	C
	実績	2.2	1.47				
【評価】							
<p>●令和3年度より本事業を実施し、食事券の給付が17件（340千円分）、利用可能店舗登録数が27件の実績となった。（換金実績は195千円）</p> <p>当事業においては、町内に住所を有するほぼ全ての新婚世帯が交付対象となるため、情報発信を徹底するべく、庁内関係窓口と連携し、遺漏のないよう取り組んでいく。</p> <p>また、今後も、国庫補助事業(1/2)の「結婚新生活支援事業」と併せ、新婚世帯へのより良い支援・町内事業所支援として継続実施していきたい。</p> <p>※KPI数値については、保健予防係調べ。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-5
事業概要	〇地域で抱える保育ニーズにきめ細かく対応(地域型保育)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域型保育給付事業		
施策の目的	事業所内保育施設や小規模保育事業施設等において、3歳未満児を対象に保育を行い、給付費等の支給に要する費用の一部を負担することにより、子どもが健やかに成長するように支援することを目的とする。		
具体的な施策内容	負担金 社会福祉法人 潤生会保育園 35,089,766円 日本基督教団瀬戸内教会 かな保育園 32,696,170円		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	単位:千円)	款	14	項	1	目	1	節	5	7	単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額				
18	1	負担金				67,785			2	国庫支出金				39,347				
									2	県支出金				14,329				
										(一般財源)				14,109				
計						67,785			計						67,785			

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
保育事業等の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標	/	/	/	/	80%	/
	実績	/	/	/	/	未定	

【評価】

●保育を希望するニーズ(特に3歳未満)に柔軟に応えられるよう、今後も民間事業者とも連携して取り組み満足度向上を目指す。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-5
事業概要	○急な用事に対応する子どもの一時預かり事業		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	一時預かり事業		
施策の目的	家庭において保育を受けることが一時的に困難となる乳幼児について、昼間一時的に預かり、必要な保護を行う。		
具体的な施策内容	NPO法人ママ・サポ・スマイル 開所日数 128日 延べ利用人数 365人		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	款	14 15	項	2 2	目	2 2	節	3 3	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳								
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額			
18	127	補助金				1,763		3	国庫支出金				587			
								7	県支出金				587			
									(一般財源)				589			
計						1,763		計						1,763		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標	-	-	-	-	70%	
	実績	-	-	-	-	未定	
【評価】							
●国に準じた補助金交付により、保護者の負担軽減及び乳幼児の健全育成に努め、さらに満足度向上を目指す。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	森 智子
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	〇子ども会育成連絡協議会の活動をととした家庭学習の充実		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	瀬戸内町子ども会育成連絡協議会																
施策の目的	各種事業・活動をととして育成会員等の相互協力と研究により、人間としての基本的な生活習慣を徹底することにより、相手を尊重し、郷土を愛する心を育て、冷静な判断・安全な行動ができる子どもを育成することを目的とする。																
具体的な施策内容	青少年団歩こう会等																
【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18	107	瀬戸内町子ども会育成連絡協議会			200			(一般財源)			200						
計					200		計					200					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
青少年団歩こう会への参加人数	目標	200	200	200	200	200	D
	実績	256	0				
【評価】							
●コロナ感染症拡大により歩こう会は中止							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教委総務課	係名	総務係	担当者名	満尾 英明
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	○小規模校の学習支援（高度へき地学校児童生徒修学旅行費）		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	高度へき地学校児童生徒修学旅行費																
施策の目的	町内の児童・生徒に社会的見聞を広め、団体行動・グループ行動を通じて、社会性・責任感・公共心・公德心を身につけさせ、将来の郷土を築く人材育成を目的とする。																
具体的な施策内容	修学旅行の一部負担。 小学生：一人25,000円 中学生：1人55,000円																
【経費内訳】																	
款	10	項	2 3	目	2	事業	1	(単位：千円)	款	14	項	2	目	7	節	1	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
19	1	高度へき地学校児童生徒修学旅行費(小)				1,950	4	高度へき地学校児童生徒修学旅行費(小)				2,957					
19	1	高度へき地学校児童生徒修学旅行費(中)				2,878	4	高度へき地学校児童生徒修学旅行費(中)				1,267					
								(一般財源)				604					
計						4,828	計						4,828				

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て支援の充実度	目標	/	100	100	100	100	A
	実績	100	100	/	/	/	
【評価】							
次世代の瀬戸内町を担う児童生徒に、より多くの社会的見聞を広め、団体行動を通じて、社会性・責任感・協調性を身につけることができた。また、保護者の経済的負担を軽減できることから今後も活用していきたい。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	学校教育係	担当者名	下八尻 孝二
----	----------	----	-------	------	--------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	OICTによる学びの質や深まりを向上(電子黒板・タブレット)		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	GIGAスクール推進事業																
施策の目的	児童生徒の情報活用能力を育むとともに、プログラミング教育、情報モラルの育成の充実をお求める。																
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導等におけるタブレットの効果的な活用 ・テレビ会議システム活用によるリモート授業 ・家庭でのオンライン学習の推進 																
【経費内訳】																	
款	10	項	2 3	目	1	事業	5830	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
13	1	フィルタリングソフト使用料(小学校)				842			(一般財源)				5,830				
13	1	学習支援ソフト使用料(小学校)				3,060											
13	1	フィルタリングソフト使用料(中学校)				416											
13	1	学習支援ソフト使用料(中学校)				1,512											
計						5,830		計						5,830			

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
全児童生徒の授業や家庭でのタブレットの効果的な活用	目標	/	100%	100%	100%	100%	A
	実績	/	100%	-	-	-	
【評価】							
<ul style="list-style-type: none"> ●学校における高速大容量のネットワーク環境の整備により、全生徒が授業等で活用してもストレスなく行うことができる。 ●タブレットを学校でも家庭でも効果的に活用できる。 							
※令和2年度のKPI指標は、「導入に係る指標」であったため、令和3年度からは、記載指標に変更している。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	学校教育係	担当者名	下八尻 孝二
----	----------	----	-------	------	--------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	〇AIロボットプログラミング教室で簡単なICT技術を習得		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	プログラミング教育用ロボットリース		
施策の目的	プログラミング教育用ロボット (nao) の活用により、児童生徒のプログラミング教育への関心意欲を高め、学習を充実させる。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・IBブロックを利用し、プログラミング教育を行う。 ・ICT支援員が学習の補助を行うことで授業を充実させている。 		

【経費内訳】

款	10	項	2	目	2	事業	406	(単位: 千円)	款		項		目		節		(単位: 千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
13	5	機器リース料		406			(一般財源)		406								
計				406		計				406							

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
プログラミング学習の充実	目標		80%	100%	100%	100%	A
	実績	70	100%				
【評価】							
<ul style="list-style-type: none"> ●ロボット教材を利用し、プログラミング教育を実践することで、プログラミング的思考を養う。 ●プログラミング的思考を養い、他教科への学力向上に繋がる。 							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	学校教育係	担当者名	下八尻 孝二
----	----------	----	-------	------	--------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	OALTの活用による国際理解教育と英語教育の推進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	外国青年招致事業		
施策の目的	英語を母国語とする外国語指導助手（A L T）を2名配置することにより、児童生徒の外国語授業の充実や外国語に対する関心意欲を高める。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ● A L T 2名配置（毎月1回以上各学校へ派遣する。）による授業の充実 ● Setouchi English デイキャンプの実施 		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	3	事業	10588	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
1	1	報酬		7,900			(一般財源)		10,588								
4	1	共済費		1,205													
8	1	費用弁償		747													
10	3	燃料費		41													
13	1	使用料及び賃借料		462													
18	1	負担金		233													
計				10,588		計				10,588							

重要業績評価指標（K P I） R 2～R 6							
K P I（指標名）		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	自己評価
未来に生きる確かな学力の取組	目標		100%	100%	100%	100%	A
	実績	100%	100%				

【評価】

- 児童生徒が、外国語に対し、興味や関心を高めることができる。
- 「Setouchi English デイキャンプ」の講師として、児童への外国語活動を充実させる。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	学校教育係	担当者名	下八尻 孝二
----	----------	----	-------	------	--------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	○加計呂麻島における児童生徒のためスクールバスを運行		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	スクールバス運営費		
施策の目的	加計呂麻島の西方地区の児童生徒の通学の便益と安全を図り、学校教育の円滑な推進に資するため、スクールバスを運行する。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ●登下校の通学時の利用 ●水泳学習や集合学習等の学校行事の際に利用する。 		

【経費内訳】

款	10	項	3	目	3	事業	4352	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳									歳入内訳								
	節	細節	費目名			金額				細節	費目名			金額			
	10	3	需用費			981				(一般財源)			4,352				
	10	6	修繕料			300											
	11	2	手数料			13											
	11	3	役務費			17											
	12	1	委託料			3,000											
	13	1	使用料及び賃借料			28											
	26	1	公課費			13											
	計						4,352			計			4,352				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
通学の便益と安全	目標	/	16人	27人	27人	27人	A
	実績	15人	16人	/	/	/	
【評価】							
<ul style="list-style-type: none"> ●スクールバスの運行により、児童生徒の通学時の安全確保や保護者の負担軽減につながる。 ●水泳学習や学校行事の際に利用し、教育活動の充実につながる。 							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	島田 伸作
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-2
事業概要	○自然体験、ボランティア活動、世代間交流活動の促進		

会計区分	一般会計		会計名						
事業名	青少年ふるさと美化活動								
施策の目的	青少年ふるさと美化活動は町内全域を対象にし、青少年の心の教育及び環境教育の一環である。								
具体的な施策内容	公民館やその周辺の清掃・除草など、地域ぐるみによる一斉清掃作業を実施している。								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳				歳入内訳					
節	細節	費目名	金額	細節	費目名	金額			
		R 3は、経費なし。							
計			0	計			0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
青少年ふるさと美化活動への参加人数	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	B
	実績	1,034	1,367				
【評価】							
●今後も継続して実施し、世代間交流の創出や、「世界自然遺産登録の街」に居住している住民全体での美化意識が高揚されている。							
※令和3年度よりKPI指標名を修正しております。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	牧統 俊和
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-2
事業概要	○地域の人々や団体が学校支援のため様々な支援活動を実施		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	古仁屋中学校区支援地域本部事業																
施策の目的	鹿児島県は地域が学校を支える素地がもともと備わっている。 県教育委員会では、その教育風土を生かし、より効果的・体系的な学校支援を行うため、「学校支援地域本部事業」を推進している。地域の人々や団体、企業等が学校支援ボランティアとなり、学校のニーズに応じて様々な支援活動を行うことで、地域全体で子どもを守り育てる環境づくりを推進するものである。																
具体的な施策内容	大きな柱（学習・部活・環境整備・登下校安全指導・学校行事） 朝の交通安全指導ボランティア派遣 学校から要望を聞き、その課題解決に向けたサポート 古仁屋小学校持久走大会での交通整理等																
【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7	81	学校支援コーディネータ謝金				389		(一般財源)				389					
計						389	計						389				

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
学習支援（%）	目標	100	100	100	100	100	D
	実績	0	0				
環境整備（%）	目標	100	100	100	100	100	B
	実績	60	60				
登下校の安全指導（%）	目標	100	100	100	100	100	B
	実績	80	80				
【評価】							
●学校の要望には概ね対応できている。 学習支援員の発掘が喫緊の課題である。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	屋田 卓也
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-3
事業概要	○島口や八月踊りなど伝統文化を発表会等をとおして伝承		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	子ども島口・伝統芸能		
施策の目的	郷土教育の一環として、町内の小中学校においてそれぞれの地域の方言や文化・伝統芸能を授業の中に取り入れ、子どもたちの生まれ育ったふるさとの愛着心を育み、郷土の伝統・文化・風土の醸成を目的とする。		
具体的な施策内容	<p>町内の児童生徒が、島口劇や地域に伝わる伝統芸能（三味線、島唄、八月踊り、太鼓）などの発表を行い、参加賞として図書券を贈呈する。</p> <p>(参加対象) ・町内の小中学校児童・生徒 ・学校職員、地域子ども会、地域の伝統芸能伝承者</p> <p>(会場) 瀬戸内町きゅら島交流館1階大ホール</p> <p>(発表内容) 島口劇、島唄・三味線 伝統芸能(豊年踊り、太鼓、棒踊り、八月踊り)</p> <p>○島唄・三味線部門(町長賞) 古仁屋中学校</p> <p>○伝統芸能部門(教育長賞) 油井小中学校</p> <p>○島口部門(ライオンズクラブ賞) 焼鈍小中学校</p>		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	2	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7	81	報償費				100		(一般財源)				225					
8	3	旅費				37											
13		使用料及び賃借料				88											
計						225	計						225				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
大会への参加小中学校(学校数)	目標	13	13	13	13	13	A
	実績	0	13				
大会への参加児童・生徒数(人)	目標	120	120	120	120	120	A
	実績	0	124				
【評価】							
<p>●町内の小・中学校13校から124名の児童生徒及び関係者が参加した。</p> <p>地域の伝統文化を継承されている方々や高齢者の方々などの協力により伝統文化の継承活動として継続すべき取り組みであり、さらなる発展に努めたい。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	鼎 丈太郎
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-2	※事業No.78と同(再掲)
事業概要	○戦跡や白糖工場跡などを活用した文化・歴史の発信			

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	埋蔵文化財調査費(埋蔵文化財を把握し内容・価値に応じて適切に保存・活用)		
施策の目的	本事業は、瀬戸内町内の埋蔵文化財を把握し保護することを目的とする。 また、確認された遺跡は、開発事業との円滑な調整を行うのみでなく、郷土教育や各種事業等にも活用し、地域の活性化を図る資源として活かすことも目的としている。		
具体的な施策内容	本事業では、瀬戸内町内の埋蔵文化財の分布や内容を把握し、遺跡の保護・活用及び開発事業との調整を行っている。また、近代遺跡については、国庫補助事業を活用して調査を実施しており、関係機関と連携・協力し、情報の共有化を図りながら、より良い調査・保存・活用方法の検討に努めている。令和3年度は、これまでの調査成果の整理を行い、遺跡調査報告書を作成した。また、水産観光課と連携し、遺跡看板(久慈・海の駅)を設置した。		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	4	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	3	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		節	細節	費目名		金額							
1~4		報酬・手当・共済費		3,921		1		文化財保護事業補助金(国庫補助分)		2,314							
7		報償費		250		1		文化財保護事業補助金(県補助分)		185							
8		旅費		1,573													
10・11		需用費・役務費		2,320				(一般財源)		7,170							
12		委託料		1,500													
13		使用料及び賃借料		105													
計				9,669		計				9,669							

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
埋蔵文化財の広報		目標	6	7	8	9	10
※R6の10講座/年に向けて段階的に設定 ※R3は、コロナ及び報告書作成の為講座減		実績	6	3			B
【評価】							
●令和3年度は、これまでの調査で得られた成果や文献史料の整理を行い、近代遺跡(戦争に関する遺跡)の遺跡調査報告書を600部(補助事業500部、増刷100部)作成した。補助事業費で作成した報告書については、群島内の高校や図書館、全国の研究機関等に配布を行った。 令和3年度の施策の目的は、概ね達成することができた。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	勝田 忠広
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-3
事業概要	○大島紬着付け体験をととした伝統文化の継承		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	大島紬着付け体験事業		
施策の目的	奄美の伝統文化である大島紬の歴史・製法などを知り、実際に着てみることによって関心を深める。		
具体的な施策内容	本場奄美大島紬協同組合青年部の協力のもと、大島紬の歴史や製法種類について講話と大島紬の着付け体験を全員行う。		

【経費内訳】												
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)			
歳出内訳					歳入内訳							
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額				
		必要経費なし										
計				0	計				0			

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
大島紬着付け体験満足度 ※アンケート	目標	80%	80%	80%	80%	80%	B
	実績	90%	90%				

【評価】

・1学年(全員)が地域の大島紬事業者等と共同で進め、大島紬の歴史と伝統、現代のニーズを捉えた取り組みなどを学んだ後、専門家の指導により、自ら着付けを行う中で、郷土の誇るべき大島紬について掘り下げて学ぶことができた。参加者は、ほぼこの事業について満足はしている。本年度は、コロナ禍により体験学習や実習が中止を余儀なくされる中で感染対策を行い実施することができたので、来年度以降は大島紬を柱に地域の活性化に取り組む団体等にも働きかけを強め、地域に密着した体験学習や体験実習等に発展させていく考えである。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	静島
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-3-1
事業概要	○職場や学校、地域において男女共同参画意識を浸透		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	男女共同参画事業		
施策の目的	町民一人ひとりが、個人としての尊厳が尊重されること、性別による差別的扱いを受けないこと及び家庭、地域、職場、学校その他社会のあらゆる活動において、個人として能力を発揮する機会が確保される社会の実現を目的として実施する。		
具体的な施策内容	①県・市町村男女共同参画行政担当者等研修会参加 担当主事補×1名 ②奄美大島5市町村担当者協議会(10/4～奄美市役所) ③奄美大島男女共同参画地域推進員の更新(1名更新。1名は期限が次年度末) ④県男女共同参画地域推進員の活動報告の提出 ⑤広報誌に周知記事掲載(2カ月に1回)		

【経費内訳】																	
款	3	項	1	目	8	事業	2	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名		金額						
8	3	普通旅費				50			一般財源		50						
計						50		計						50			

重要業績評価指標(KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
男女共同参画への意識醸成にかかる研修会の実施や参加	目標	実施	実施	実施	実施	実施	B
	実績	実施	実施				
【評価】							
<p>●令和3年度、担当職員が行政担当者等研修会へ参加し、法的定義や理想社会実現に向けての取組等に対する意識醸成を図ることができた。</p> <p>また、奄美市の呼びかけにより、奄美大島5市町村の本事業担当者が集い、各地域における課題などを共有することができ、今後のより良い取組推進に繋がられる有意義なものとする事ができた。</p> <p>広報紙での周知・啓発においては、前年度と同様、隔月での記事掲載をすることができ、またその内容についても、前述の奄美大島5市町村会議で優良事例として報告があるなど、良い取組を継続実施することができた。</p> <p>令和4年度においても、地域の実情、状況に応じ、最適な取組を実施していく。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-3-2
事業概要	○配偶者等からの暴力の防止及び被害者を支援		

会計区分	一般会計	会計名							
事業名	DV被害者支援								
施策の目的	配偶者等からの暴力等から早急に被害者を保護及び避難させることで、被害の拡大を防ぐことを目的とする。								
具体的な施策内容	DV被害にあった方から相談があれば、保健師による相談内容の聞き取り、また警察や瀬戸内事務所と連携し、被害者の保護に努める。 避難の必要がある場合は、避難先の手配を行う。								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		R 3は経費なし。							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
相談件数	目標	5	15	-	-	-	A
	実績	5	15				
【評価】							
DV相談件数(虐待含む) : 15件 保健師による相談内容の聞き取りを行い、内容によっては警察の介入を含め、避難を促し被害の拡大を防ぐことができた。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	中島
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-3-2
事業概要	○配偶者等からの暴力対策庁内連絡会議を実施し情報を共有		

事業名	“我が事・丸ごと”支え愛事業「住まい部会」								
施策の目的	チームせとうち“我が事・丸ごと”支え愛事業に「住まい部会」を設置し、住宅確保要配慮者等に対し支援を実施することで、一人ひとりの「住まいの安心の確保」に繋げる。								
具体的な施策内容	①4/16 (第1回庁内連携会議) →セーフティーネット住宅に係る問題に対し、企画課・保健福祉課による協議実施 ②10/8 (第1回移住支援研修会) →県移住支援協議会主催、各市町村担当者を対象にオンライン研修を受講。(新たなセーフティーネット制度の取組や居住支援の必要性等)								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額	
		R3は、経費無し。							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
住まい部会の開催	目標	-	開催	開催	開催	開催	A
	実績	-	開催	-	-	-	
居住支援協議会の設置	目標	協議開催	設置	運営	運営	運営	D
	実績	協議開催	未設置	-	-	-	
【評価】							
<p>「住まい部会」事案として、セーフティーネット住宅への措置依頼の案件があった。</p> <p>事案発生した際には、連絡体制の構築ができていたため、解決までの流れが迅速に出来ていると思われる。しかしながら、DV被害者など「住宅確保要配慮者」の定義については、緊急性や機密性があるため、関係職員で共通した“意識付け”が重要である。</p> <p>今後も、庁内関係者が共有した意識のもと、より迅速に課題解決を図れるよう、連携した取組をしていく。</p> <p>また、令和4年度は保健福祉課を主管とした「居住支援協議会」の設立に向けても、関係課連携し取り組んでいく。 ※KPIに「住まい部会開催」を追加。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	人事行政係	担当者名	義永
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-3-3
事業概要	○管理職へ女性を登用し施策や方針の決定過程に参画を推進		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	女性職員の活躍推進																
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な視点による新たな発想を入れ、活力ある社会を築くため、政策・方針決定過程への女性の参画拡大を推進する。 ●管理的地位にある職員に占める女性割合を12.5%以上にする。 																
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ●女性職員のスキルアップのための女性職員研修の実施 ●国（環境省）への女性職員出向 																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	2	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
8	003	帰任旅費			170			(一般財源)			170						
計				170		計				170							

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
国県、民間企業、他団体等への女性職員の出向機会を積極的に確保	目標	1	1	1	1	1	A
	実績	2	1	/	/	/	
女性職員のキャリア形成の支援（女性職員研修の実施）	目標	1	1	1	1	1	A
	実績	2	2	/	/	/	
課長・課長補佐・係長の各役職段階における女性職員の人数を増やす	目標	10/94	10/96	10/96	11/96	12/96	C
	実績	8/94	8/96	/	/	/	
【評価】							
●女性職員の意欲向上、キャリア形成の支援等により係長以上の役職に占める女性職員の割合増加を目指す。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	人事行政係	担当者名	義永
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-3-4
事業概要	○長時間労働の改善や育児・介護・年休の取得を推進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	ワーク・ライフ・バランスの取組推進		
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・私生活の充実による仕事の生産性の向上、人材確保及び優秀な人材の流出を防ぐ ・職員一人当たり・一月当たりの平均超過勤務20時間以下 ・育児休業の取得率男性10%、女性100% ・年次有給休暇の取得日数15日以上 		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療休暇制度の導入 ・超過勤務縮減を実現するために課内調整を行う。 ・同僚が休暇取得をしやすいよう、皆で協力して職場を支えていく意識を持つ。 ・育児に関連した行事への参加など年次休暇を積極的に取得させるよう努める。 		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額	
		R3は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
職員一人当たり・一月当たりの平均超過勤務20時間以下	目標	20	20	20	20	20	A
	実績	6.2	7.6	/	/	/	
育児休業の取得率男性10%、女性100%	目標	男10 女100	男10 女100	男10 女100	男10 女100	男10 女100	C
	実績	男0 女100	男0 女100	/	/	/	
年次有給休暇の取得日数15日以上	目標	15	15	15	15	15	B
	実績	12.4	12.7	/	/	/	

【評価】

・育児休業取得については、制度の周知を図るも給与等に影響するため、男性職員の取得が進まない。

・年次有給休暇の取得日数については、全職員年間5日間取得を最低基準とし、年次休暇の計画的な所得を図り、所属職員が相互にサポートすることに努める。